

一般質問



マイクロツーリズム推進について！



みらいの風 ● 奥村 幹郎 議員

脱コロナ・ウイズコロナの環境の下、近隣府県・近隣市町からの誘客について

答 各個人が感染予防対策を講じる事が前提条件となるため、自家用車などで移動するスタイルが増加すると予想されます。一度に大勢の人に来ていただくのではなく、少人数のグループや個人客の来訪が増えるような観光地を目指したい。そのためには、市民が何気なく大切にしていることやもの、地域を再認識し、皆さんと共にそれらを守り継ぐことが必要だと考えます。

問 地域の人に地域の良さを再発見していただき、地域愛を育んでいただくための市内からの誘客について

答 市民の皆様は、地元で楽しんでいただけるよう、観光協会など

と連携をしながら情報発信に努めます。

問 イベントだけに頼らない集客について

答 市内の事業者がコロナ対策を始めており市としても応援していきたいと思っています。

「自然環境の保全」「観光振興」「地域振興」「観光教育の場としての活用」を基本理念とするエコツーリズムについて

答 市内の自然環境を活かした体験プログラムや、視察などを検討していきたいです。

問 エコツーリズムを地域の健康づくりの動機付けに。

答 新しい生活様式の実践をしながら、生活エリアを少しずつ広げられる今、健康づくりのためにも、身近な地域を訪れ、地域の再発見ができる良い機会だと捉えております。

議会だよりの愛称は、

「さわやかジャーナル」に決まりました！

湖南市議会では、より市民の皆様にも身近な

議会だよりを目指し、愛称を募集したところ、市外も含めて多数の応募がありました。議会広報委員会において厳

正かつ公正に審査を行った結果、湖南市議

会だよりの愛称は、「さわやかジャーナル」に決定いたしました。このほか、アイデアあふれた作品が多く寄せられました。すべての作品を掲載することはできませんが、愛称を応募してくださった皆さま、誠にありがとうございました。

「さわやかジャーナル」を応募してくださったのは、湖南市の福井香保里さんです。

福井さんは、「いつもすがすがしい街でありますように」という思いをこめて「さわやかジャーナル」という愛称を応募してくださいました。

今後議会だより「さわやかジャーナル」が、愛称に込められた思いのように、市民の皆さまとさまざまな意見交換をし、すがすがしい風が吹く、住みやすい湖南市になれるよう地域の発展を目指し、市民の皆さまに寄り添いながら、共に歩んでまいります。また、読みやすくわかりやすいを基本として、議会の活動内容をお伝えしていきます。今後の議会だより「さわやか

ジャーナル」にご期待ください。



議会だよりをスマホでチェック

「湖南市議会だより」をより多くの人に見ていただくために、スマートフォン向けアプリ「マチイロ」に掲載しています。アプリをダウンロードすれば、いつでもどこでも見ることができます。



マチイロ